



総会・懇親会 (平成29年7月23日)

創立百周年記念事業の 成功に向けて



同窓会会長
竹井 淳
(宗高十二回卒)

残暑厳しき折、会員の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。先月の同窓会総会において、川島会長の後継会長として承認いただきました竹井でございます。百年に一度の記念すべき大切な時期でございますので、非力ではございますが会員の皆様のご協力を得ながら頑張りたいと思います。

さて、川島前会長は四年間に渡り中高一貫校設置や創立百周年の実行委員会の設立などたいへんな時期を精力的に牽引してこられました。心から敬意を表します。

平成三十一年の創立百周年が二年後に迫っていますので、宗像高校創立百周年記念実行委員長川島前会

長と協力しながら記念事業成功に向けて全力を傾注しますのでよろしく願います。

創立七十周年のときには各支部の皆様には大変お世話になりましたが、今回の創立百周年についても、各支部(東京、関西、福岡、北九州、宗像市役所)において実行委員会をつくって協力して行こうという動きがあることは、頼もしくまた有難く思います。

創立百周年記念の全体図は、式典や祝賀会などの記念行事は主に学校とPTAが受け持ち、募金や体育施設の充実などの記念事業は主として同窓会が受け持ちます。現在、それぞれが実行委員会を準備をしているところです。

同窓会本部では、記念事業実行委員会と協力しながら、九月から始まる募金活動や各種記念事業の計画・実施に向けて取り組んでいます。具体的な計画については、同封の募金趣意書やHPに載せていますので会員の皆様のご理解とご協

力を切にお願い申し上げます。

おりしも、ユネスコでは「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録され、宗像の名が日本中へ、そして世界に発信されます。これを追い風にして宗像高校創立百周年を祝い、さらに次の百年に向けて勢いを付けたいものです。

それでは会員の皆様のますますのご清栄と百周年記念事業の成功を祈念してご挨拶とさせていただきます。

会長退任の挨拶



前同窓会会長
川島 照亮
(宗高三回卒)

同窓会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成二十五年七月に同窓会長として御承認いただき、爾来二期四

宗像高校同窓会報

第47号

2017年8月25日

* 発行所 *
宗像高等学校同窓会
竹井 淳

* 印刷所 *
クワノフォーム印刷

福岡県立宗像高等学校
同窓会事務局
〒811-3436
福岡県宗像市東郷6-7-1
TEL.0940-36-4422



宗高から日本へ
そして世界へ発信



質實剛健
自強不息

平成28年度 大学等合格者数一覧

国立大	合計	現役	過年	私立大	合計	現役	過年	私立大	合計	現役	過年
埼玉大	1		1	駒澤大	1		1	日赤九州看護大	3	3	
電気通信大	1		1	芝浦工大	1		1	福岡女看護大	5	5	
静岡大	1		1	昭和女子大	1	1		純真学園大	5	4	1
新潟大	1		1	創価大	1	1		西九州大	1	1	
神戸大	1		1	拓殖大	1	1		長崎国際大	2		2
鳥取大	1		1	中央大	6		6	崇城大	4		4
広島大	2	2		帝京大	1	1		九州ルーテル大	1	1	
九州大	17	10	7	東京農大	2		2	日本文理大	1	1	
山口大	7	4	3	東京理大	1		1	立命館アジア大	1		1
九州工大	18	12	6	東洋大	2		2	九州保健福祉大	2	2	
福岡教育大	16	10	6	法政大	1		1	総計	416	226	190
佐賀大	17	12	5	関東学院大	3	3		短大	合計	現役	過年
長崎大	10	9	1	金沢工大	2		2	中村学園大短大	2	2	
熊本大	10	4	6	京都産業大	1		1	精華女短	1	1	
大分大	5	4	1	同志社大	11	2	9	福岡女学院大短	1	1	
宮崎大	5	4	1	佛教大	1		1	九州女短	3	3	
鹿児島大	6	4	2	立命館大	32		32	西南女大短大部	1	1	
鹿児島体育大	1	1		龍谷大	1		1	福岡女短	1	1	
琉球大	4	4		大阪学院大	1	1		総計	9	9	0
国立大計	124	80	44	関西大	1	1		専門・各種・その他	合計	現役	過年
公立大	合計	現役	過年	近畿大	25	5	20	福岡医健専門	3	3	
会津大	1	1		関西学院大	3		3	福岡歯科衛生専門	1	1	
静岡文化芸大	1	1		天理大	1	1		美萩野医学技術専門	1	1	
大阪市立大	1		1	環太平洋大	1	1		福岡美容専門	1	1	
鳥根県立大	1	1		広島工大	6	6		西日本アカデミー	1		1
尾道市立大	1	1		広島国際大	3	3		バンダイゲームアカデミー	1	1	
県立広島大	1	1		九州共立大	3	3		神田外国語学院	1	1	
広島市立大	1	1		九州国際大	3	3		中部楽器技術専門	1	1	
山口東京理科大	1	1		九州産大	22	18	4	福岡ビューティアーツ専門	1	1	
下関市立大	2	2		九州女子大	3	2	1	大原学園	1	1	
北九州市立大	21	20	1	久留米大	2	2		公務員ゼミナール	1	1	
福岡県立大	5	5		久留米工大	1		1	麻生公務員専門	3	3	
福岡女子大	4	4		産業医大	3	2	1	福岡カレッジオブビジネス	2	2	
長崎県立大	3	3		西南学院大	62	30	32	九州職能大学校	1	1	
名桜大	1	1		西南女学院大	4	4		航空保安学生	1		1
公立大計	44	42	2	第一薬大	1	1		海上保安大学校	1	1	
国公立大総計	168	122	46	筑紫女学園大	18	18		海上保安学校	2	2	
私立大	合計	現役	過年	中村学園大	12	8	4	防衛大学校	3		3
国際医療福祉大	2	1	1	西日本工大	3	1	2	福岡県警	1	1	
共立女子大	1	1		福岡大	99	63	36	宗像市役所	1	1	
工学院大	1	1		福岡工大	24	9	15	総計	28	23	5
				福岡女学院大	14	13	1				
				九州栄養福祉大	3	2	1				

平成29年度 人事異動

【転出者】		山本 博康 教頭先生 筑紫丘高校へ
【事務】	赤尾 惠美 事務次長 八幡南高校(事務長)へ	
【事務】	松永 亮 香主任・主事 筑紫丘高校へ	
【高校教員】	木下 智子 先生(国語) 三瀬高校へ	
【高校教員】	松元 英彦 先生(数学) 香椎高校へ	
【高校教員】	畑山 李彩 先生(家庭) 退任	
【高校教員】	國松 勲 先生(公民) 退任	
【高校教員】	花田 豊昭 先生(理科) 退任	
【中学校教員】	土器 恵理 先生(英語) 新宮中学校へ	
【中学校教員】	久保 佳菜 先生(英語) 福岡東中学校へ	
【中学校教員】	武内 勉 先生(技術) 退任	
【転入者】		
【管理職】	伊藤 啓一 教頭先生 博多青松高校より	
【事務】	國廣 美佐子 事務次長 香椎高校より	
【事務】	中野 寛弥 主事 新規採用	
【高校教員】	磯部 久美子 先生(国語) 光陵高校より	
【高校教員】	小出石 宏治 先生(数学) 北筑高校より	
【高校教員】	熊本 悠美 先生(歴史) 新規	
【高校教員】	平松 肇子 先生(家庭) 新規	
【中学校教員】	藤田 亮太 先生(数学) 八幡高校より	
【中学校教員】	美野 陽子 先生(英語) 宇美南中学校より	
【中学校教員】	香野 福美 先生(英語) 新規	
【中学校教員】	幸 省吾 先生(芸術) 新規	
【中学校教員】	野中 悠大 先生(技術) 新規	

年、平成二十七年四月の中高一貫校開校など多くの思い出を持って此の度、退任いたしました。これまでの皆様の御協力、御支援に心から感謝申し上げます。

顧みますと、会長就任後のもとなり私の同窓会役員としての思い出は、故伊豆善也名誉会長の功績を語らずして筆を執ることはできません。『宗像の教育をよくする会』に始まり、福岡県の教育正常化に立ち上がった勇姿。



伊豆名誉会長に引き続き命日3月7日に
出光佐三翁を慕撃される川島前会長

ばならないと考えております。

会長在任中は、本部総会や東京支部を始め各支部総会で多くの同窓の方々と触れ合うことができ、それが私にとつて心の栄養となりました。これからは、この心の栄養を大切にして創立百周年記念事業に邁進いたします。

後任には、母校十六代校長経験者で創立百周年記念事業にも最適任者であります、竹井淳会長にお願いいたしました。新会長には会員の皆様方の一層の御協力、御支援を賜りますようにお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校の益々の発展と繁栄そして同窓会の発展、充実を祈願し、併せて同窓会員の皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。退任の挨拶といたします。

さて、宗像中学校も開校三年目を迎え、中高一貫教育校として全学年が揃い体制を整えたところです。校訓「質実剛健・自強不息」の精神は中学生にも浸透し、中学・高校共に本校生の体幹となっています。

出光佐三翁が唱えられた「宗像人は非常に素直で優しく一致団結する。而も積極的な性格を持っている」という醇風美俗を持つ本校生徒をさらに育てるために、今年は「コミュニケーション力と主体性に富み、チャレンジ精神を持って生き抜く生徒の育成」を学校目標として取り組んでいます。若木から育ち、百年の風雪に絶えた大樹にまた新たな若葉が芳しく次々に芽生え大きく延び繁ようとしています。

母校全面改築に多大なお力添えを頂き、また、中高一貫校の立上げにも御尽力を頂いた功績に深謝の念を忘れません。楽しみにしておられた創立百周年を待たずに旅立たれ、御教示を賜ることが叶わぬこととなり残念でなりません。この御恩に報いる為にも、百年という歴史の大きな節目に居合わせた者として、母校から要望のありました「部室棟・グラウンド夜間照明」の施設整備を同窓会の記念事業として何としても叶えなければ



校長
古川 浩輝

百年風雪を超える大樹

ふとそよぐ涼風に新しい季節の訪れを知る頃となりました。宗像高等学校同窓会の会員の皆様には、平素より本校の教育活動に対して物心両面にわたる力強いご支援を賜り心から感謝申し上げます。

毎年六月に本校卒業生の教育実習生十数名が参ります「夢に向かつて」羽ばたいた卒業生が教育実習を終えてまた一段と逞しくなった翼で飛び立っています。母校というのは何と温かく、生きる力をあたえるものかと感慨深くなります。同窓会員の皆様も機会がありましたら是非母校へお立ち寄りください。時代が移り校舎が変わっても、そこに息づく魂は不滅です。

結びに、今後とも宗像中学校・高等学校への叱咤激励と温かいご支援をお願い申し上げます。

同窓会新体制について

【本部役員】									
会長	長竹井 淳	(東高18回卒)	副会長	占部 眞砂子	(東高6回卒)	“	“	“	“
“	中森 展代	(東高12回卒)	“	吉永 克美	(東高17回卒)	“	“	“	“
“	江口 友弘	(東高18回卒)	書記長	石松 豊幸	(東高27回卒)	書記長	遠藤 精近	(東高28回卒)	“
“	小田 真一	(東高30回卒)	“	矢野 公樹	(東高32回卒)	“	計鷹 取知子	(東高43回卒)	監査委員
“	岩熊 雅代	(東高23回卒)	“	恒任 雅代	(東高23回卒)	“	“	“	“
【各支部役員】									
東京支部									
支部長	森 誠	(東高18回卒)	副支部長	古瀬 保子	(東高19回卒)	“	池田 正則	(東高20回卒)	事務局長
“	遠藤 潤二	(東高20回卒)	支部長	安部 八洲男	(東高12回卒)	副支部長	小山 嘉代子	(東高14回卒)	“
関西支部									
支部長	川端 正	(東高17回卒)	事務局長	川端 正	(東高17回卒)	支部長	高山 日出徳	(東高8回卒)	北九州支部
副支部長	花田 清隆	(東高10回卒)	支部長	鈴木 大代	(東高13回卒)	事務局長	越智 文和	(東高13回卒)	福岡支部
“	安部 有樹	(東高48回卒)	支部長	中島 睦雄	(東高17回卒)	事務局長	中島 睦雄	(東高17回卒)	“
“	石松 豊幸	(東高27回卒)	支部長	中野 和久	(東高28回卒)	事務局長	吉川 弘達	(東高31回卒)	“
“	三好 康之	(東高26回卒)	“	“	“	“	“	“	“
【退任】									
会長	川島 照亮	(東高3回卒)	副会長	近藤 清志	(東高6回卒)	監査委員	花田 常樹	(東高23回卒)	“

バスケットボール部

同窓会の皆様には日頃から生徒たちの活動に対し、ご支援賜り感謝申し上げます。また、本年3月に4年ぶりの九州大会出場を果たすことができましたがその際にはOBOG会からもご支援賜り、紙面をお借りしまして、重ねてお礼申し上げます。

さて、我々男子バスケットボール部は現在総勢45名で日々の練習に励んでいるところです。ご存じの方も多いたとは思いますが、この宗高がある福岡中部ブロックは全国的に見ても他に類を見ない程の激戦区であり、日本代表や外国人留学生を擁し、全国優勝を果たす程の実力を有した私立高校が存在する地区です。この激戦区で生徒達は鎧を削ることで、着実に力をつけています。100周年に向け念願の全国大会出場を果たし、全国にその名を轟かせることができるよう励んでいきます。生徒達は質実剛健・自强不息の校訓のもと日々の生活を送っていますのでこれからも御声援の程宜しくお願いします。



ウィンターカップ福岡県決勝 (H28.11)

野球部

現在、宗像高校野球部は、目的を「人間力育成」、目標を「甲子園で校歌を歌う」として日々精進しています。合言葉は、「すべてはチームのために」です。今までの先輩方がなしえなかった、甲子園。宗像高校100周年でぜひ叶えたいと思っています。平成30年、夏の甲子園大会も100回大会を迎えます。何かの縁を感じずにいられません。100回大会は、福岡県から2校甲子園出場となっております。

北部に参入して県大会に出場していませんが、ここ10年の成績は、県大会出場3回、市長杯優勝1回、準優勝1回、公立高校大会優勝2回です。

福岡は激戦区ですが、何としても生徒と甲子園の舞台に立ち、甲子園で校歌を歌いたいと思っています。多くの方々の支えが生徒の励みになっております。

チャンスをものに、甲子園への切符を必ず手にしたいと思っています。



第99回全国高等学校野球選手権福岡大会 (H29.7)

電気物理部

電気物理部は、現在主に2つの活動に取り組んでいます。

一つはロボカップというロボットサッカーの競技会に出場することで、今年6度目の世界大会出場を果たしました。

もう一つは、自然現象を研究し、全国高総文祭で発表するという活動で、こちらも6度出場し、2度の全国制覇を果たしています。

生徒たちはロボットの製作を通して、製作技術や研究に没頭する姿勢を身につけます。

そして、その経験を踏まえて科学研究を行うことで、高い水準の研究を行うことが可能になります。2つの活動で全国トップレベルの成果を上げ続けるのは大変ですが、両方行うことに価値があると考えます。

これからも生徒と共に、妥協のない活動を続けて参ります。



世界大会ライブファイナル (H28.7)

ラグビー部

宗高ラグビーは、平成32年に創部70周年を迎えます。思い起こせば、これまでOB会の立ち上げ準備から携わってきて、名簿づくりや組織作りに永い間奔走してきました。

平成15年総会が、新たなOB会活動の機会となり、OB・OG会費の納入勧奨活動、定期的な会報の発行等実施。さらに55周年記念誌発刊等を全OB・OGが協力して遂行しました。

主な活動は、毎月の幹事会開催、年3回会報発行、夏の合宿時の激励会、全国大会予選前の壮行会、正月2日のOB戦運営やその後の現役との懇親、そして卒業生送別会参加等々。他方、現役強化として花園親戦の財政支援や練習防具の寄贈等支援活動に取り組んでもいます。今後は70周年記念事業を成功させ、現役のサポートや強化に努めていきます。

OB会長 広 渡 雅 孝



平成29年度 年間行事予定

- | | |
|--|--|
| <p>4 April
高校入学式/中学入学式
早朝指導(高1)
国際交流活動(中2)</p> <p>5 May
開校記念講演会
講師:住友林業 取締役専務執行役員 和田 賢氏(宗高26回卒)
自立と協働を学ぶ体験活動(中1)
中間考査
文化祭</p> <p>6 June
自立と協働を学ぶ体験学習(高1)
企業訪問(中3)
期末考査
大学訪問(中2)
世界遺産見学(中1)</p> <p>7 July
クラスマッチ(高校)
三者面談
宿泊学習(高2)</p> <p>8 August</p> <p>9 September
体育祭</p> | <p>10 October
中間考査
漁業見学及び農業体験(中1)
職場体験学習(中2)</p> <p>11 November
中学校開校記念式典
期末考査</p> <p>12 December
鍛錬登山(中3)
修学旅行(中2)
三者面談</p> <p>1 January
修学旅行(高2)
国際交流活動(中1)
国内語学研修(中3)
百人一首大会(高1)</p> <p>2 February
耐寒登山(高1)
学年末考査</p> <p>3 March
高校卒業式
クラスマッチ(高校)
中学卒業式</p> |
|--|--|



平成28年度

部活動結果

- 総合運動文化部
 - ・馬術競技「国民体育大会」第36回九州ブロック大会 7月16日～17日(宮崎県)
 - ・バイオリン「第40回全九州高等学校音楽コンクール」器楽・管弦楽部門 11月12日(福岡県)
 - ・少林寺拳法「第3回九州高等学校少林寺拳法選抜大会」 12月10日～11日(福岡県)
- 水泳同好会部
 - 「第64回全九州高等学校水泳競技大会」 7月16日～18日(大分県)
 - 「九州新人大会」(3名出場) 10月1日～2日(福岡県)
- バスケットボール部
 - 「全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会」 3月19日～20日
- 電気物理部
 - 「ロボカップジュニア2017九州ブロック大会」 1月8日(福岡県)
 - 「サッカークラウドウェイトリーグ」1位 (高校1位)(中学3位) 1月28日～29日(福岡県)
 - 「九州高等学校生徒理科研究発表大会」 1月28日～29日(福岡県)
 - 研究発表部門・最優秀賞、ポスター発表・優良賞
- 県大会出場
 - ◆ バレーボール部(男子)
 - ◆ バスケットボール部(男子)
 - ◆ ハンドボール部(男子)
 - ◆ ソフトテニス部(女子)・個人
 - ◆ テニス部(女子)・団体・個人
 - ◆ 陸上競技部(男子)・個人(男子)・個人(女子)・個人
 - ◆ 水泳同好会部(男子)・個人(男子)・個人(女子)・個人
 - ◆ 剣道部(男子)・個人
 - ◆ 空手道部(男子)・団体・個人
 - ◆ 卓球部(女子)・個人
- 全国大会出場
 - 空手道部
 - 「全国総合体育大会空手道選手権大会」 7月30日～8月2日(山口県)
 - 「JOCジュニアオリンピックカップ」第36回全国高等学校空手道選手権大会 3月26日～28日(大分県)
 - 総合運動文化部
 - ・少林寺拳法「全国高等学校少林寺拳法選抜大会」 3月24日～26日(香川県)
 - ・馬術競技「国民体育大会」少年団体障害馬部門(男子1名) 10月1日～11日(若手県)
 - 電気物理部
 - 「ロボカップジャパンオープン2017」 3月25日～26日(岐阜県)
 - 「サッカークラウドウェイトリーグ」(中高出場) サッカークラウドウェイトリーグ
 - 水泳同好会部
 - 「国民体育大会」 9月9日～11日(若手県)
 - 九州大会出場
 - 空手道部
 - 「第65回全九州空手道選手権大会」 7月8日～10日(宮崎県)
 - 「第42回全九州空手道選手権大会」 7月16日～17日(宮崎県)
 - 「全九州高等学校空手道新人大会」 全国高等学校空手道選抜大会予選会 11月11日～13日(長崎県)

会報 ペンリレー スタート!!

{ 第1回 }



安部 有樹
(宗高四十八回卒)

平成九年に卒業しました安部有樹です。甚だ僥越ではありますが、川島照亮前会長が「会報」の新しい企画として始められました「ペンリレー」の第一回目を担当させていただくこととなりました。

私が母校を後にして二十一年が経ちます、そこで「同窓会」への思いの一端を述べてみたいと思います。

◆「無縁社会」に對峙して

日本が「無縁社会」と言われて久しい。国、各地方自治体も策を講じてはいるが、一朝一夕に効果が表れるものではない。この何とも寂しい響きの社会を生き抜く一つの拠り所として、同窓会を捉えることも一考であると思うのである。

私は両親のお陰で幸いにも大学ま

で進学することができた。私は東京の大学に進学したが、卒業後の繋がりを考えてみると、やはり高校時代の繋がりは特に強固であるように感じる。先輩方から連絡と受け継がれてきた「タテ」の繋がりと同級生同士の「ヨコ」の繋がりを、現下の無縁社会を生き抜く拠り所と位置付けるといふ発想は大袈裟だろうか。

◆同窓会が果たす役割

では、そもそも同窓会が果たす役割とは、何であろうか。

従来の役割としては、運動部が全国大会に出場したり、今回の母校のように、周年記念事業で費用を募ったりするという後方支援的な側面があるだろう。

また、特に我々のように「現役」世代にとつては、同窓会に参加することで、仕事上の繋がりが生まれるきっかけとなる等実利的な一面もあるのではないかと。

しかし、私はそのような一切を抜きにして、ただ旧交を温める場であるということだけで十分ではないかと思うのである。世代を越え「宗高卒業」という共通項だけで、一瞬にして繋がることのできる、これだけではないのではないだろうか、と。

◆未来への「レガシー」

二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピック（オリパラ）が、刻一刻と近づいてきている。平成二十四年（二〇一二年）のロンドンオリパラ以来、「レガシー」という言葉が聞かれるようになった。レガシーとは本来「遺産」という意味であるが、オリパラの文脈においては会場等を大会時のみではなく、その後の継続使用も考慮して新設するといった意味合いで用いられる。

私は今回の百周年は、母校にとつてオリパラのような意味を持つと考えている。つまり、これまでの百年の節目であると同時に、次の百年に向けた新たな出発点として位置付けることができると思うのである。

◆次の百年へ

我々は、今回記念事業として設置される照明や部室整備等の「ハード面」に加えて、「ソフト面」にも思いを致したい。それはとりもなおさず、これまでに先輩方が継承してこられた「質実剛健、自強不息」の校訓、そして次世代に向けた我々からの新たなメッセージに他ならないのではないか。

今から百年後、つまり母校が二百周年を迎える際、恐らく我々の世代

が二百周年記念式典に参加することは、ないだろう。

形あるものは、いつか消えゆく。しかし、形のないものこそ時を超えて受け継がれていくものであり、また受け継いでいくべきではないだろうか。

我々が未来の後輩たちに残せるものは、果たして何であるのか。百周年を迎えた今、我々卒業生の責務として、考える必要があると考える。

◆志を果たしに・・・

日本人であれば誰もが知っているであろう唱歌「ふるさと」。三番目の歌詞に「志を果たしていつの日にか帰らん」とあるが、私はこれからの時代、ふるさととは「志を果たしに」帰る場所となるべきではないかと考えている。

幸い宗像市も「宗像市人口ビジョン」の中で、将来の方向性の一つとして「若い世代が暮らしたい街の実現」を掲げている。この精神的土壌が若者の間に広がれば社会全体の価値変革が起きるのではないだろうか。

かく言う私も、上述のように東京の大学に進学した理由の一つに、「宗像から出たい」という想いがあった。在学中、中国（上海）に留学もしたが、今振り返ってみると、外から客観的に見つめることができたからこそ、

宗像の素晴らしさを再認識することができたと考えている。後輩の皆さんも機会があれば是非、国内外を問わず、積極的に外の世界を見聞してほしい。

◆終わりに

母校を離れ既に二十年近くが経過したが、今でも母校の校訓は私を精神的に支える「レガシー」として、心の中に在る。

後輩の皆さんも「質実剛健、自強不息」の精神と共に、感謝の気持ちを忘れず、二度と戻らない貴重な三年間を、部活、勉強、友人と過ごす時間、何でも構わない、とにかく全力で生きてほしいと切に願っている（次回の執筆は私の同級生、本垣内英人さんです）。

活躍する 同窓生

母校の学びを
キャリアに

私は二〇一二年三月に宗像高校卒業した鋤先と申します。

宗高在学中は電気物理部に所属



し、二〇〇九年オーストリアで行われたロボカップ世界大会に出場することができました。其の節は、同窓会をはじめ多くの方々にご支援を頂き、誠に有難うございました。

卒業後は、筑波大学理工学群工学システム学類に進学。筑波大学大学院システム情報工学研究科知能機能システム専攻を今年三月に卒業して、四月成田国際空港株式会社に入社しました。

現在社内所属は、空港運用部門滑走路保全部 航空無線グループというところ。本部署での業務内容は、航空保安無線施設と呼ばれる装置（着陸時に航空機を滑走路へ誘導する電波を出す装置など）の運用、管理等になります。また、弊社では二、三年に一度必ずジョブローテーションがあるので、二、三年後は異なる業務を行います。私の場合ですと、空港ターミナル内の施設、例えばFIS（航空機が何時にどこ行きで何番ゲートとか表示している電光掲

示板）等を管理しているかもしれませんし、IT系の部署にいるかもしれません。また、子会社や関連会社、国土交通省への出向の可能性もあります。

先週、業務で必要な資格（第二級陸上無線技術士）試験を受験しました。内容は法規、無線工学の基礎、無線工学A、無線工学Bという四科目ですが、無線工学の基礎は高校物理プラスαといった程度です。全体の合格率は二割程度で三〇〇時間程度の学習時間が必要と言われておりますが、私の学習時間は実質三十分程度でした。自己採点の結果合格できたこと確信しております。その理由としては、やはり高校時代からの積み重ねがあったからこそだと実感しております。社会人になってからも高校や大学のような勉強をする機会があるとは思っていなかったのですが、大きな社会勉強となりました。

そして、高校、大学時代に効率良く学習するテクニックや自分にあつた勉強の型、集中して勉強する時間を継続するスキルなどを鍛えておくことが大切だと実感しました。

大学の同じ専攻の大多数はメーカー（日立やNEC、トヨタや日産など）に研究職や開発職で就職しますが、私はインフラ系の会社に技術系

総合職として就職したいと考えました。その理由は、以下の通りです。

● インターンシップ等でメーカーの職場の雰囲気よりもインフラ系の会社の雰囲気の方が好きだと感じたため。

● 技術系（理系的要素）を含みつつも、総合職（ジョブローテーション）のある飽きない環境に身を置きたいと考えたため。

● 首都圏で通勤なしという刺激を受け続けられる環境に身を置きたいと考えたため。

● ドローンに関する研究していたこともあり、航空機に多少の親しみがあったため。

右記のことに気づいたのは、視野を広く持ち、様々なインターンシップや説明会等に参加したり、先輩など多くの人に話を聞いたからだと思っています。今後とも人とのコミュニケーションを大切に、広い視野を持っていきたいと思っています。

最後になりましたが、創立百周年に向かつて宗像高校同窓会がますます発展されることをお祈りします。



22回宗像中学校卒業生同窓会



宗中22回生 昭和20年卒業

三十三回宗中卒業生同窓会を、三月三日、いつもの神湊末広で行った。例年、末広で行っているのは、先の経営者が同窓であったためである。八十八歳の米寿を乗り越えて参加したのが十一名で昨年と同じ参加数であった。

会食前には、それぞれの近況を語りあい、体の不調(耳の遠さ、眼の悪

さ、膝の痛み等)のさすがに老化を感じる。その後の会食、例年の「ふく料理」を楽しむ。飲み食べの飲食の後、記念撮影をし、そろそろお別れの時間になる。一年各に年を重ね、この会も今年でおわりかと思われたが、来年も十名以上の参加者があれば開くことに決まり、会を閉じそれぞれ再会を約して帰路に着く。

宗中23回生 昭和21年卒業
宗中24回生 昭和22年卒業

本年二月十八日、伊豆善也氏の突然の訃報に接し、大変な衝撃を受けました。私たちの同級生であり、平成七年五月から平成二十五年七月まで十九年間、長年に亘って宗高同窓会会長として本校同窓会の発展に尽くされ、また地域社会への貢献度抜群で、その功績は計り知れないものがあります。その死は「正に巨星

落つ」の感慨ひとしおのものがありません。

私たちは在学の大半が戦時中のために卒業回数が二回(昭和二十一年、二十二年)に別れているために、非公的に(昭和十七年入学ということから)宗中十七会を組織し、平成十一年四月に発足して、会則、慶弔規定を設け、年会費を納付し、毎年四月中



(文責 門司)

旬に総会を開催するようにしています。会員数は結成当初六十二名でしたが現在は二十八名で、その中で十四名、十五名が元気にしている状態です。伊豆氏は十七会の中で中心的存在であり続けました。

今年は私たちが「米寿」を迎える記念の年にするために、一月下旬に、役員有志が伊豆氏を訪ねて総会の打ち合わせをしました。期日は例年より早く三月十六日(木)、宗像大社に参拝し「米寿の祝」祈願した後、宗像市江口「花わらび」で懇親会。彼が楽しみにしていたこの日を待たずに逝ってしまいました。総会では彼と共に在った年月を偲びながら語り合い、歓談し、お互いが現在健康でいることに感謝し、そして会の存続を三年後の東京オリンピックの年に決めることにして閉会し、次年度を約束して帰路に着きました。

各回だより

宗中22回生

昭和20年卒業

三十三回宗中卒業生同窓会を、三月三日、いつもの神湊末広で行った。

例年、末広で行っているのは、先の経営者が同窓であったためである。八十八歳の米寿を乗り越えて参加したのが十一名で昨年と同じ参加数であった。

会食前には、それぞれの近況を語りあい、体の不調(耳の遠さ、眼の悪

支部長会議の開催について

平成二十九年七月二十三日総会に先立ち支部長会議が開催されました。

会議では、各支部より代表者が集まり、百周年記念事業に向けての各支部の取り組みなど、活発な意見交換が行われました。

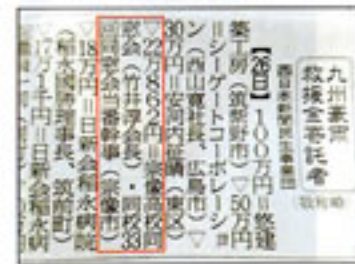
平成29年度 同窓会
総会・懇親会を終えて

平成二十九年年度同窓会総会・懇親会の開催に当たり、大勢の皆様方にご参集いただきましたことを心より御礼申し上げます。

さて、二年前にこの度の同窓会総会・懇親会の当番幹事が自分たち高校三十三回生に回ってくるのが分かり、すぐに学年の同窓会を実施しました。その後、半年に一回の同窓会を重ね、実行委員の選出や役割分担を

早めに決め、十歳下の四十三回生(チケット一〇〇枚販売)と、二十歳下の五十三回生(チケット一〇〇枚販売)へ連絡を取り、当番幹事会にも参加してもらいました。このように多くのメンバーで取り組めたことが、多くのチケット販売(合計九五三枚販売)、そして多くの参加者(五五〇名以上参加)へと繋がった要因であったと思います。各地区の同窓会事務局、各学年の幹事様、また校内幹事の先生や同窓会事務局のお力添えをいただきながら全体で作りに上げることができた総会・懇親会であったと思います。来年の総会・懇親会、そして再来年の百周年行事へと続くステップになったと、当番幹事一同喜んでいきます。

また、当日急遽集めさせていただきました「北部九州災害対策義援金」には多くの皆様のご賛同をいただき、総会当日募金いただきました二五五、〇〇〇円と当番幹事(三十三回生)の六五、八六二円の合計三二〇、八六二円を「西日本新聞災害対策基金」(七月二十七日朝刊に掲載)へ送らせていただきました。ご報告しませす。多くのご支援有難うございました。



法被・記念碑デザインについて

法被は、日本の伝統衣装で、祭などの際に着用し、また職人などが着用する印半纏です。

宗像高校百周年にあたり、これを記念して宗高二回卒(昭和二十六年)で宗像を代表する画家の花田喜八郎氏に記念式典用の法被をご依頼しデザインしていただきました。

また、記念碑についても、同窓会で現在考案中です。

記念碑デザイン案



(写真は制作中のイメージです。実物とは異なります。)

法被デザイン案



花田喜八郎氏(津島2回卒)デザイン

サニブラウン・アブデル・ハキーム君を応援する取り組み

サニブラウン・アブデル・ハキーム選手は、6月に開催された陸上日本選手権において、100m、200mの2種目に優勝し、8月4日(日本時間5日)からロンドンで開催された「第16回世界陸上競技選手権大会」に日本代表として出場しました。また、100mでは日本人初の9秒台の期待が大きく、2020年東京オリンピックにおいてもその活躍が注目されている競技者です。

彼の母親である明子氏(旧姓伊藤明子)は、宗像高校35回生で、3年生時には、陸上競技部員として100mと100mハードルで愛知インターハイへ出場を果たすな

ど、陸上競技部の輝かしい伝統をしっかりと築き上げた部員の一人です。

そこで陸上競技部OB会は、世界で活躍する彼女のご子息であるハキーム君に対し、この宗像の地から応援したいと考えております。つきましてはこの取り組みにご賛同いただける方に一口1,000円の賛助金をお願いし、応援資金にしたいと考えております。

振込口座/福岡銀行 宗像支店 普通 1838964
宗像高校陸上競技部OB会 代表 小田 真一

櫻の蕾が膨らむ初春の三月十日宗像の「華杏」に於いて第四十八回の同窓会を開催した。記念の写真撮影、物故者を追悼し黙祷、続いて青柳君の元気な声で乾杯、懇親会へと移った。諸般の事情により閉会が伝えられている状況のなか、前回より多くの四十一名の出席があり、四年ぶりの故郷での盛大な同窓会であった。久しぶりの参加者や馴染みの顔が揃い、お互いに元気でいることを喜び、和気あいあいと一日を過ごした。

欠席された方々の近況報告では、元気に頑張つて過ごしているが遠出が困難という方、足・腰・膝などの症状で体調不良となられその回復に努め

宗高3回生

昭和27年卒業

ではなく心のあり方のことだ。若くあるためには強い意志力と優ぐれた構想力激しい情熱が必要であり、小心さを圧倒する勇気と易きにつこうとする心を叱咤する冒険への希求がなければならぬ。人は歳月を重ねたら老いるのではない、理想を失ったときに老いるのである。「サムエル・ウルマン。この貴重な青春譜を再認識して、心身の若さを保ち、これからの生涯を生きて行こうと決意している。」

(世話人 K)



宗高8回生

昭和32年卒業

五月晴れの五月十八日、昭和三十二年卒業生の同窓会を神湊の「魚屋別館」にて二年ぶりに開催しました。今回は中央中学校出身者が当番

られている方、老化の為止む無く入院生活となつていらっしゃる方などであった。皆様が早く元気になるように祈念し、米寿・卒寿を目指して次回の再会を約束しながら二台のバスに乗り込み散会した。

(文責 瀧口)

宗高10回生

昭和34年卒業

二〇一六年七月三十一日、ユリックスでの総会に十一名出席し歓談しました。二次会は、王丸の「やまづばさ」で茶話会をして名残を惜しみました。

秋の親睦旅行は、十月十七日、十八日で萩・島根の益田市・津和野を訪れました。出席者は男性十三名、女性十七名で、四十人乗りの中型バスに揺られて談笑しながら行程を楽しみました。

一日目のメインは、萩市内です。中央公園からガイドさんの案内で、円

宗女17回生

昭和23年卒業

腰曲がり杖をたよりに、集いました。友の情報をたしかめて、安堵しました。

身体はあちこち、痛いところだらけ。でも、負けてはならない。がんばつて来年も友達に逢いに行こうという意気込みで、皆さんに呼びかけます。約束の場所に集まるのが気がかりです。どうぞ道中気をつけてお集まりください。

来年は米寿の祝いをおかねて実施します。体調を整えておいでください。

宗像市係より



昨年九月二十六日の同窓会の写真です。一部の人がバスの関係で帰られたあと残りの人のみで写しました。

宗高2回生

昭和26年卒業

世の中は三日見ぬ間に桜かな

(夢太)

日本人は江戸時代から「花見」を村の行事として恒例化していたようである。だが、暮らしに余裕のない当時の農民達は、この純白と薄いピンク色に透き通らせた桜花をどのように鑑賞し心に深く染み込ませていたのだろうか。多忙な生活の合間に横目で、ただ惜しみながら観ていた人達もいたのではないだろうか。また、多くの人は短命で鮮やかで見事な咲きつづりを見せるこの桜花を、自分の人生に重ねながら惜別の情感として折り込み眺めた時期もあったのである。日本人の心には深く伝わる句である。

既に八十路を歩き始めた「二十年会」は、今年も天候穏やかな日に、響灘を望む「ひびき荘」に集まった。物故者への黙祷、意外な友人の訃報に言葉を無くしながらも、我々は、その年代に差し掛かっていることを自覚し頭を垂れ黙祷した。

大病を何とか乗り越えた田原さんは、福岡市から長男の車で早い時間に到着されたと言っておられた。久しぶりの旧友との出会いで往時のことなど思い起こされたことで



しよう。一般的に、女性は男性に比べて遙かに健康長寿であることは疑念の余地をもたないが、そのことが家族の幸せのためには如何に有り難いことか計り知れないものがあり素晴らしい贈り物と言えよう。前回に比べてカラオケの盛り上がりははやや欠けていたように思えるが、出席者の表情には健康そのものであったことを強く印象付けられたことは、今回の大きな収穫であり、また会の意義があったように思う。

丁度、この日の同じ時刻に、この会場前の響灘の沖には、旧宗像中学校校歌に詠まれている「雲霧の沖の島云々」を想起するような、危機一髪の状態が進行しつつあったことを、誰もが気付いていたのではないだろうか。世界最強の空母「カールビンソン」が駆逐艦を従えて日本海に向かっていたのである。北朝鮮は、十分に戦争状態に突入出来る態勢を整え構えていたようであるが、戦争状態にはならず無事に終わったことは何よりのことであった。だが、このことが契機となり日本は憲法改正問題へと進むことになるような気配である。

戦後の日本は、世界に誇りうる「戦争放棄」(平和主義)を掲げた理想の憲法を持つ国である。果たして、この憲法を変えるという選択が、日本の未来にどのような結果をもたらすことになるであろうか。今、日本は重大な岐路に立たされているような気がしてならないのである。「日本は、国際社会に於いて名譽ある地位を占めたい」と記している。

「若さとは、ある人生の時期のこと

猛烈で大型の台風十六号の接近が危ぶまれる平成二十八年九月十八日(日)、無事昭和五十年卒業生の「還暦同窓会」が玄海ロイヤルホテルで開催されました。

代表幹事の武田邦宏さんを中心に、準備・企画・運営と限られた時間の中で、幹事・関係者の方が一致団結され、総勢二八名の参加のもと、節目である還暦同窓会が盛大に無事に開催されたこと、大変感謝しています。

宗高26回生

昭和50年卒業

同じ教室で学んだ思い出に会話は尽きません。六十歳も半ばを過ぎ人生実りの時まだまだ現役で頑張る人、趣味に明け暮れる人など様々ですが、先生が各人の近況報告に熱心に耳を傾けられ、丁寧に書き留めて下さっていた事がとても嬉しく大変印象に残りました。二次会には、更に女子一名が加わり青春時代に流行した歌を次々に熱唱して楽しい時間を過ごしました。今回も遠くは関東関西からの参加があり別れを惜しみつつ、次回また必ずと誓い合ったものです。同級生って本当にいいものですね。あなたに会いたい友が待っています。

(白石)



二度と来ない大きな節目の集いに、学年の三割にあたる同窓生の参加があったことはそれだけ楽しみであり、多くの期待があったことと思います。

会場では、クラスごとのテーブルとなり、受付で手渡された名札を頼りに、高校時代の顔を思い浮かべ、記憶の糸をたどりながら、恐る恐る話しかけていきましたが、時間が経つにつれ、アツと言う間に高校時代の自分たち。

これからの人生の時間のなかにも、イレギュラーな予想していないこともあると思いますが、ひとつひとつ乗り越え、積み重ねながら、お互いより良い七〇歳を迎えたいものです。

参加頂いた皆さん、参加できなかった皆さんの今後のご健勝とご活躍をお祈りし、良い時間の記憶をお土産に、またの再開を楽しみにしたいと思います。

いろいろと本当にありがとうございました。(参加同窓生より)

宗高33回生

昭和57年卒業



た。久々の同窓会で顔と名前が一致しない方もおられました。そこは同級生、すぐに打ち解け、昔の呼び名で呼ぶと不思議なことに高校時代に戻ったような感じがしてきました。やはりこの年になると話題は子供の成長のこと、仕事のこと、また病気のことも多岐に亘りますが、大変盛り上がり全員で二次会まで参加しました。



政寺、木戸孝允旧宅、菊屋家住宅と武家屋敷や町家をゆっくりと巡りました。少し時雨模様で傘が役に立ちました。萩を出がけに村田蒲鉾店に寄りお土産を買い込みました。日本海側の百九十一号線の景色を楽しみながら一路益田市を目指しました。

宿泊先は、荒磯温泉「荒磯館」です。日本海の雄大な水平線を眺める露天風呂に入り、夕食は海の幸を堪能しました。夕食の広間で岩見神楽の種神楽保存会の社中の皆さんで、「四神」「大蛇退治」などを上演してもらいました。須佐能尊と四匹の大蛇との絡み合いなどの熱演に大きな拍手を送りました。

二日目は、晴天に恵まれ益田市内の萬福寺雪舟庭園や柿本人麻呂の終焉の地の高津柿神社を巡り、津和野に向かいました。津和野では、昼食に郷土料理の「うずめ飯」を味わいました。鯉のいる掘割の道を散策し、お土産に源氏巻を買い求めて帰路につきました。

道の駅「きくがわ」で夕食に「焼きそうめん」をいただき、再会を約束しながら帰途につきました。

八十歳まで後しばらく親睦旅行を続けたいと思っています。みなさんしっかり元気をキープして是非とも参加してください。

今年は、十月十六日(月)・十七日(火)の予定です。山口・九州内で無理なく行ける所で計画いたします。みなさまの参加を心よりお待ちしております。

(幹事一同)



宗高20回生 昭和44年卒業

私達は二年生の時の同窓会(クラス会)を三年毎に開催しています。

宗高二十回生二年五組(担任：上野正人先生、男子三十七名、女子十八名)の教室は、テニスコートに面した場所にありました。当時の校舎は木造平屋で渡り廊下があり、しっかりと落ちついた趣が感じられました。クラスマッチや文化祭、修学旅行など数々の思い出がある中でも、自分達で計画した夏休みの大島キャンプの楽しさは格別のものでした。秋にはハッピーな出来事が。二学期

のある日ホームルームで、前触れもなく先生が「結婚します」と発表された時には、歓声が沸き起こり大きな拍手で心より祝福したのを覚えています。結婚式には、生徒一同で祝電を送り、そのユーモラスな内容に披露宴ではワツと笑いが起こったと先生からお聞きしました。

三年進級でクラス替えがあり、そして卒業して別々の道を歩いて来た訳ですが、還暦を機に田中さんの呼びかけで思いも寄らぬ同窓会が実現したので。初回は勝浦の「華杏」にて。四十余年振りの再会を喜び合い懐かしさで会は、一気に盛り上がりました。二回目は、塩田さんのお世話で岡垣の「ぶどうの樹」で。中野さんの編集による高校時代の写真が会場のスクリーンに映し出され懐かしさもひとしお和気あいあいの楽しい会となりました。

此の度は、三回目の同窓会で幹事長は堀口さん。博多駅に程近い「海山邸」にて。九月十六日(金)十二時より男子十二名、女子六名が出席しました。若くて新婚ほやほやだった先生も喜寿を迎えられ細やかなお祝いを致しました。恩師に感謝の気持ちを含めて「仰げば尊し」を、肩を組み合い宗像校歌を大合唱。およそ半世紀が経つ今でも縁あつて一年間を

最後に、参加者一同、故郷の地に届けとばかりに万感胸に迫る思いで校歌を斉唱し、あっという間に至福の時が過ぎ去りました。

「宗像・沖ノ島遺産群の世界文化遺産登録」によって宗像の地名が全国的な拡がりをもたせ、首都圏

最初、昭和二十年卒の廣嶋氏に乾杯のご発声をお願いし、会場全体が一気に宴会ムードとなり、参加された方々の笑顔で満ち溢れんばかりの雰囲気となりました。

そうしたなかで、同窓生相互の親交を深めるための新企画として、各界で活躍中の五名(男性三名、女性二名)の方々のインタビューコーナーも設けましたが、人選に際し、同窓生は多士済々であることを改めて知ることとなりました。

後半では、二十四名の女性ゴスペルグループ(実は幹事の身内もいました)による合唱もありましたが、リズムカルな歌声に合わせた古川校長の華麗な一人ダンス(踊りではありません)は、大受けで、一挙に古川校長への親近感がわく場面でした。

懇親会では、最初に昭和二十年卒の廣嶋氏に乾杯のご発声をお願いし、会場全体が一気に宴会ムードとなり、参加された方々の笑顔で満ち溢れんばかりの雰囲気となりました。

そうしたなかで、同窓生相互の親交を深めるための新企画として、各界で活躍中の五名(男性三名、女性二名)の方々のインタビューコーナーも設けましたが、人選に際し、同窓生は多士済々であることを改めて知ることとなりました。

後半では、二十四名の女性ゴスペルグループ(実は幹事の身内もいました)による合唱もありましたが、リズムカルな歌声に合わせた古川校長の華麗な一人ダンス(踊りではありません)は、大受けで、一挙に古川校長への親近感がわく場面でした。



平成二十九年三月十二日(日)宗像高校同窓会東京支部学年幹事会を開催しました。

幹事会には昭和三十年卒から平

学年幹事会及び

百周年実行委員会開催

平成二十九年三月十二日(日)宗像高校同窓会東京支部学年幹事会を開催しました。

幹事会には昭和三十年卒から平

には一、〇〇〇名を超える在住同窓生がいっぱいいます。

幸い、ここ数年東京支部総会・懇親会への参加者は徐々に増える傾向にあるものの、名簿の整備がまだ十分とはいえない状況にあります。この会報をご覧いただいている方で、支部からの連絡が来ないという方がいらっしゃいましたら、左記の東京支部事務局宛に「グランドニッコー東京台場」で開催予定です。

総会・懇親会が、世代を超えた「宗像高校同窓生の集いの場」となりま



平成二十九年三月十二日(日)宗像高校同窓会東京支部学年幹事会を開催しました。

幹事会には昭和三十年卒から平

学年幹事会及び

百周年実行委員会開催

平成二十九年三月十二日(日)宗像高校同窓会東京支部学年幹事会を開催しました。

幹事会には昭和三十年卒から平

平成二十九年三月十二日(日)宗像高校同窓会東京支部学年幹事会を開催しました。

幹事会には昭和三十年卒から平

平成二十九年三月十二日(日)宗像高校同窓会東京支部学年幹事会を開催しました。

幹事会には昭和三十年卒から平

創立百周年に向けての 取り組みについて



各支部だより

福岡支部

懇親会の活動

支部創設三十周年を迎えた平成二十七年に新しい取り組みとして「宗像高等学校同窓会福岡支部」のホームページを開設し、今日まで多くの方にご覧いただいております。

主目的は会員への最新の情報伝達や在校生の活躍の紹介ですが、それ以外で人気が高いのは「ふる里探訪」のページです。「江戸時代より宗像

支部創設三十周年を迎えた平成二十七年に新しい取り組みとして「宗像高等学校同窓会福岡支部」のホームページを開設し、今日まで多くの方にご覧いただいております。

主目的は会員への最新の情報伝達や在校生の活躍の紹介ですが、それ以外で人気が高いのは「ふる里探訪」のページです。「江戸時代より宗像

支部創設三十周年を迎えた平成二十七年に新しい取り組みとして「宗像高等学校同窓会福岡支部」のホームページを開設し、今日まで多くの方にご覧いただいております。

主目的は会員への最新の情報伝達や在校生の活躍の紹介ですが、それ以外で人気が高いのは「ふる里探訪」のページです。「江戸時代より宗像

支部創設三十周年を迎えた平成二十七年に新しい取り組みとして「宗像高等学校同窓会福岡支部」のホームページを開設し、今日まで多くの方にご覧いただいております。

主目的は会員への最新の情報伝達や在校生の活躍の紹介ですが、それ以外で人気が高いのは「ふる里探訪」のページです。「江戸時代より宗像



<https://www.munakofb.com/>

題の一助にさせていただきます。紹介申し上げます。

東京支部

第33回総会・懇親会

「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」

(論語 学而篇)

平成二十八年十月三十日(日)、ハロウィンで賑わう東京お台場において、東京支部第三十三回総会・懇親会が開催されました。川島会長、古川校長ほか来賓の方々、現役の大学生七名を含む総勢一五八名の同窓生が一堂に会すなか、数十年前の再会でお互いの変貌ぶりに驚愕を覚えたつと、一瞬にして若かりし頃の容姿を思い浮かべられる朋友に、ごく自然に「やあー久しぶり」という声が此



処彼処に響き合っていました。総会では、まず、田中顧問からの動議により森誠新支部長(四十二年卒)就任の承認をいただきました。続いて、川島会長、古川校長から、ご祝辞とともに宗像の近況について参加者が思わず聞き入ってしまう郷愁の念を抱かせる内容のお話をいただいた後、新役員紹介、会計報告等一通りの事項を滞りなく終え、懇親会へと進んで行きました。

(三) 一千名を超える関東近郊在住の同窓生に対し、記念総会を機に東京支部同窓会の存在をより強力にアピールする。

これらの施策の中で最も知恵を絞らなければならないのが、資金の工面です。

現状、支部会計には資金の余裕がないことから、今年度と来年度の支部総会の会場でご参加いただいた会員に募金として募り、ご協力いただいた方々に対して平成二十七年に本部で作成したDVDを進呈しようとの考えに至りました。

このDVDは宗中や宗女に始まる母校の歴史や部活動の紹介など、懐かし興味深い内容になっており、皆さんにも喜んでいただけるものと思います。

記念総会参加者二百名もかなり頑張らないと達成できない高い目標です。過去最高は平成二十一年度の一九一名ですが、ここ数年は百五十名前後で推移しています。

なかでも昭和五十五年以降卒業の若い世代の参加者を如何に増やすかが大きな課題です。

東京支部の百周年に向けての取り組みは、まだまだ始まったばかりで、これから更に具体化していかなければなりません。私どもの現状での取り組みが少しでも他支部の皆さん

の参考になれば幸いです。
また、他支部の取り組みのなかで好事例があれば是非ご教示ください。よろしくお願いいたします。

以上

宗像高校同窓会東京支部事務局

遠藤 潤 二

関西支部

第31回総会・懇親会

関西支部総会と懇親会を二〇一六年十一月十二日(土)にホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)にて開催いたしました。同窓会本部より川島会長、竹井副会長、遠藤書記長、母校より古川校長、小田校内幹事、林田実行委員がご来賓としてご出席頂きました。また、東京支部から昨年に引き続き、嶺清光氏(三十四年卒)が来訪されました。

今回の参加者は、人数六十名(男性三十五名、女性二十五名)となり、昭和二十六年(一九五一年)卒から平成二十七年(二〇一五年)卒まで幅広く世代が集い、現役の大学生も九名参加となり賑やかな総会・懇親会になりました。

総会では、まず全員で物故者に黙祷をささげました。それから安部支部長の挨拶、細川会計監査からの会



計報告の後、同窓会会長・川島会長の挨拶、母校の古川校長から新任の挨拶と母校の活動報告とOBの活躍の様子等のお話を伺いました。

第32回総会・親睦会

開催について

今年の関西支部総会・親睦会は、二〇一七年十月二十一日(土)に決定しています。昨年と同じ場所(交通・便利で食事がおいしい)ホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)で開催いたします。

三十二回目の総会となります。関西地区のみならず、九州地区や関東

地区からの参加者もいらつしやいます。同窓会報を見られた皆様、是非ご参加しませんか? ご連絡頂ければ卒年の学年幹事を紹介させていただきます。

連絡先: 川端事務局長

電話〇七九八二二六三三二八
携帯〇九〇一八五三三三〇三六六

北九州支部

総会・懇親会・見学会

平成二十八年十一月十九日(土)に、宗像高校同窓会北九州支部を開催いたしました。

例年、北九州支部総会の場所を、高山支部長に提案をしていただき、支部の幹事会で、最終決定をしています。

今年の第一会(六月十五日)の幹事会では、まだ総会の場所を決めていませんが、決まり次第、皆様に、お知らせいたします。

北九州支部では総会・懇親会と合わせて周辺の見学会を実行しています。簡単に過去五年間の見学会を紹介いたします。

・平成二十四年
宗像みあれ祭【海上神幸】
・平成二十五年
博多祇園山笠【集団山見甘】



・平成二十六年
黒田官兵衛ゆかりの地【中津城外】

・平成二十七年
航空祭【芦屋基地】

・平成二十八年
世界近代遺産【官営八幡製鐵所・旧本事務所・遠賀川水源ポンプ室】

支部総会・懇親会と合わせての見学会は本部の皆様からも好評をいただいております。

これからも北九州支部総会・懇親会・見学会をとうして、皆様の交流がいつそう盛んになりますよう、支部

役員一同努力してまいりますのでよろしく願います。

北九州支部事務局 越智 大和
電話〇九三(六〇二)五〇五九

宗像市役所支部

職域支部として発足

宗像高校宗像市役所支部は、宗像高校同窓会初の職域支部として発足して、四年が経過しました。平成二十九年四月現在で、二六六人の組織です。

定年退職者も順次出ていくところですが、宗高出身の新入職員が平成二十八年度は四人、平成二十九年度は五人と続々と入庁してきており、喜ばしい限りです。

平成二十八年、十一月十八日の市役所支部定期総会には二十一人の出席者があり、総会の後、赤兎馬にて懇親会を行いました。普段、職場では接点がない先輩や後輩と親睦を深めることができ、今後仕事をしていくうえでも有益になるものと確信しております。

宗像市は、七月九日に「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が第四十一回世界遺産委員会において、八つの構成資産(福津市の新原・奴山古墳群を含む)すべてを世界遺産一



覧表へ掲載することが決定となりました。今後、宗像市はますます注目されることとなり、職員一丸となって、郷土宗像を盛り立てていくと奮起しているところです。

宗像市役所は、毎年、さまざまな形で職員を募集しております。宗高出身者のみなさまにもぜひ、宗像市役所を受けていただき、入庁していただけたら、頼もしい支部の先輩職員がバックアップしていきます。何卒よろしく願います。

宗像市役所支部支部長 石松豊幸



県下ゴルフ大会で宗高OBが優勝!

第二十三回宗像高校同窓会ゴルフ大会が八月二十日(土)に福岡国際カントリークラブで開催されました。事故もなく、和気あいあいにプレーし、旧交を温めることができました。競技は熟年層(七又コース)、若年層(中山コース)に分かれ、優勝はそれぞれ田中美博さん(高五回)、今橋達也さん(高二十一回)でした。

第六回TNC福岡県高校OB、OGチーム対抗ゴルフ大会が平成二十八年十月八日(土)和白コースで開催され、五十チームの参加の中で、宗像高校チームが見事優勝しました。参加者は、有吉美南男さん(十五回卒)、江口友弘さん(十八回卒)、北城戸勇次さん(二十回卒)、小河武文さん(二十回卒)の四人でした。

平成三十年八月二十五日(土)に開催予定の第二十五回大会は、宗高創立百周年記念ゴルフ大会の予定です。百周年記念事業の一環として行うもので、賞品も多く用意しますので奮って参加をお願いします。

宗像高校同窓会ゴルフ



宗像高校OBが優勝
県下ゴルフ大会で宗像高校OBチームが優勝した。参加者は、有吉美南男さん(十五回卒)、江口友弘さん(十八回卒)、北城戸勇次さん(二十回卒)、小河武文さん(二十回卒)の四人でした。



第23回

ゴルフ大会開催される



終身会費・年会費納入者一欄

平成28年4月1日から平成29年3月31日現在分を掲載
・終身会費:10,000円 ・年会費:1,000円
(年会費として納入するときは10年間納入)

平成29年度 宗像高校同窓会 総会・懇親会

各支部



東京支部

日時：29年10月9日(月) 12:00～14:30
場所：グランドニッコー東京台場
(東京都港区台場2-6-1)
問合せ先：事務局長 太田 哲雄
048-969-4119 (090-2319-1912)

関西支部

日時：29年10月21日(土) 13:00～16:00
場所：ホテル阪急インターナショナル
(大阪市北区茶屋町19-19)
問合せ先：事務局長 川端 正
0798-26-3828 (090-8533-0366)

北九州支部

現在、総会日時については検討中です。
問合せ先：事務局長 越智 大和
093-601-5059

福岡支部

日時：29年11月12日(日) 11:00受付 12:00～
場所：ホテルオークラ福岡
(福岡市博多区下川端町3-2)
問合せ先：事務局長 中島 睦雄
090-9479-8375

宗像市役所支部

現在、総会日時については検討中です。

※各支部同窓会の総会に参加してみようと思われる方は、どの地域からでもご参加いただけます。
ぜひ、事務局までお問い合わせください。多くの方々のご参加をお待ちしています。

財団法人 奨学金事業について

一般財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会 代表理事 吉田 晃

財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会は、昭和6年、当時の旧制中学校の後援を目的として周辺町村長を中心とする地域の有志により設立された現文部科学省認可の財団法人です。当初は、旧制中学校発展に資するため、土地の取得や、職員住宅の確保等を主な事業としていました。その後、学校諸施設に対する援助等を主な事業としてきましたが、平成15年度からは新たに奨学事業を発足し、平成28年度には、2年生6名、3年生4名の計10名に総額120万円の奨学金を給付しております。奨学生の皆さんは、経済的困難な状況に負けることなく勉学を続けることができ、自己の目標達成に向けて頑張ることができました。

平成28年度は各方面から70万円余のご寄付をいただいております。ここにご寄付をいただいた方のご氏名を掲載させて頂き、本紙面をお借りして改めてお礼に代えさせていただきます。

本財団法人は、今後とも在学生の奨学支援に力を注いで参る所存ですのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。
なお、今年度から顧問に伊豆美沙子様(宗高28回卒)が就任されました。

(一財)福岡県立宗像高等学校後援会事務局

宗像高等学校事務局長 後藤 薫 〒811-3436 福岡県宗像市東郷6丁目7-1 TEL 0940-36-2019

奨学金、
ありがとう
ございました。

- ・宗高25回生 楠北園総合建設 代表 北園 淳 様
- ・宗像高等学校同窓会 福岡支部 様
- ・宗像高等学校同窓会ゴルフ実行委員会 様
- ・昭和56年卒業 総会当番幹事一同 様
- ・宗像高等学校同窓会 東京支部 様

- ・宗高16回生 広瀬 春江 様
- ・宗高18回生 東京支部支部長 森 誠 様
- ・宗高19回生 東京支部副支部長 古瀬 保子 様
- ・宗像高等学校同窓会 様

《29年3月までにご寄付頂いた方》